

# 全国消費者団体連絡会 意見

2023年10月19日

一般社団法人全国消費者団体連絡会

事務局長 郷野 智砂子



# 一般社団法人全国消費者団体連絡会

1956年設立

**「消費者の権利の実現とくらしの向上、消費者団体活動の活性化と  
消費者運動の発展に寄与すること」を目的として活動**

(地域単位の消費者連絡組織 26 全国的消費者団体 14 消費者問題に関わる非営利組織 9 計49団体)

全国の会員団体が緩やかにつながりながら、消費者問題、食品の安全・表示、環境・エネルギーなど、くらしに関わる様々なテーマについて、国の審議会等への委員参加やパブコメの提出などを通して、消費者の立場から意見発信を進めています。また専門家や行政などと連携し、学習活動・政策提言・立法運動に取り組んでいます。

\* HP、X (Twitter)、Facebookによる情報発信もしています。

(2022年度の取り組み)

- ・政府審議会等への参画 8省庁26会議
- ・意見・パブリックコメントの提出 20本
- ・学習会・セミナー・シンポジウムなどの開催 21回 (参加延べ人数 約1700名)
- ・専門委員会 (製品安全専門委員会、国際活動専門委員会)
- ・機関誌「消費者ネットワーク」発行 年9回

# 市場環境の変化に対応した通信政策の在り方に関する提案意見

## (全体について)

- ・ 固定電話の契約者が減少し、スマートフォンや携帯電話などのモバイルが全国に広がって繋がる中で、ユニバーサルサービスの必要性が取りざたされています。NTTの果たしてきた公的な役割を終わらせることを目的に、政府がNTT株を売却できるよう、NTT法を改正することに反対します。

- ・ 膨張する防衛費の不足分を充当するために政府保有のNTT株を売却するとの報道があります。そもそも国民的合意がないままでの防衛費増額は論外ですが、株式売却で防衛費に充当することを目的にNTT法を改正するということには改めて反対します。

# 市場環境の変化に対応した通信政策の在り方に関する提案意見

## (2.我が国の社会経済活動を支える「情報通信インフラの整備・維持」の在り方) について

- ・ NTTは通信のユニバーサルサービスを維持し提供するという点で重要な組織です。過疎地域でも平等に通信できるブロードバンドサービスの提供が必要です。
- ・ 大規模災害時など、一定規模で配置されている公衆電話や災害時用公衆電話はユニバーサルサービスとして位置づけられており、国が株式を保有する会社として、このようなサービスを維持強化することは、NTTの重要な役割と考えます。
- ・ メタル回線の老朽化に伴い、ブロードバンドへの切り替えに取り組むことが必要と考えます。

## (6.上記1～5を踏まえた関係法制度の在り方について)

- ・ NTT法にある「電話の役務のあまねく日本全国における適切、公平かつ安定的な提供を確保する責務」は国民にとって重要であり、電話以外の通信インフラも対象として位置付けることが望ましいです。

# 市場環境の変化に対応した通信政策の在り方に関する提案意見

## (1.2030年頃に目指すべき情報通信インフラの将来像及び政策の基本的方向性) について

・誰一人取り残さない社会づくりに向けて、情報インフラの果たすべき役割は大きくなります。国民にとって、DXやICTが進展する中、分かりやすい仕組みであることや広く周知することは重要です。技術的な進歩だけが加速して情報通信インフラが複雑化するような事態を招来しないよう、2030年の目指すべき姿について、国民の理解が進まない状況を作らず、丁寧な論議をしてください。